

滋賀県省エネ診断支援事業アンケート調査結果について

令和4年11月

公益財団法人滋賀県産業支援プラザ

滋賀県省エネ診断支援事業アンケート調査結果について

当プラザでは、平成 24 年度から省エネ診断支援事業を実施しており、令和 4 年 12 月末時点で 588 件の事業所に対して専門家を派遣しました。派遣後一定の期間が経過したことから、アンケート調査を実施し事業効果の把握を行っています。今年度は、令和 2 年度に実施した 79 社を対象に調査しました。

I. 調査概要

1-1. 回答数・回答率

調査対象企業 79 社に対して調査したところ、有効回答は 39 社・回答率は 49.4%でした。

1-2. 調査方法

1. 目的

省エネ診断支援事業・専門家派遣¹を実施した企業の事業効果の把握のためにアンケート調査を実施する。

2. 調査期間

令和 4 年 10 月 7 日（金）～11 月 11 日（金）

3. 調査期限

令和 4 年 11 月 11 日（金）

4. 調査対象者

令和 2 年度に省エネ診断を実施した 79 社

5. 送付方法と回収方法

送付 アンケート用紙をメール送信

回収 メール回答

6. 問い合わせ先

公益財団法人滋賀県産業支援プラザ

連携推進部 CO2 ネットゼロ支援室 西澤

電話 077-511-1424 FAX 077-511-1418

II. 調査結果

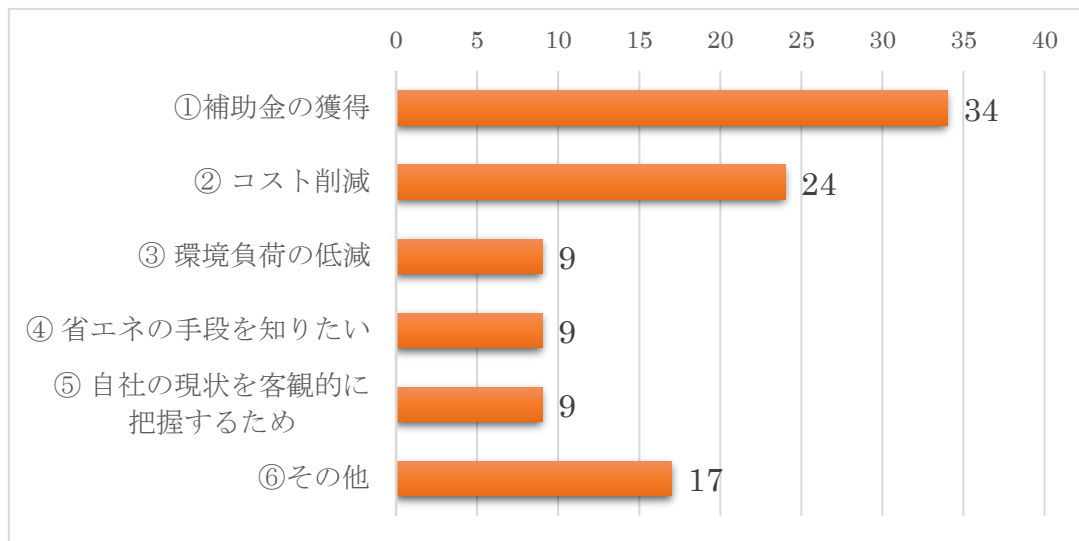
調査対象企業 79 社に対して、39 社からの回答があり、回答率は 49.4%であった。

2-1. 省エネ診断について

1. 省エネ診断・専門家派遣を活用した理由

当事業を実施した目的は、「補助金の獲得 (34 社)」が 1 位で「コスト削減 (24 社)」が 2 位であった (図表 1)。

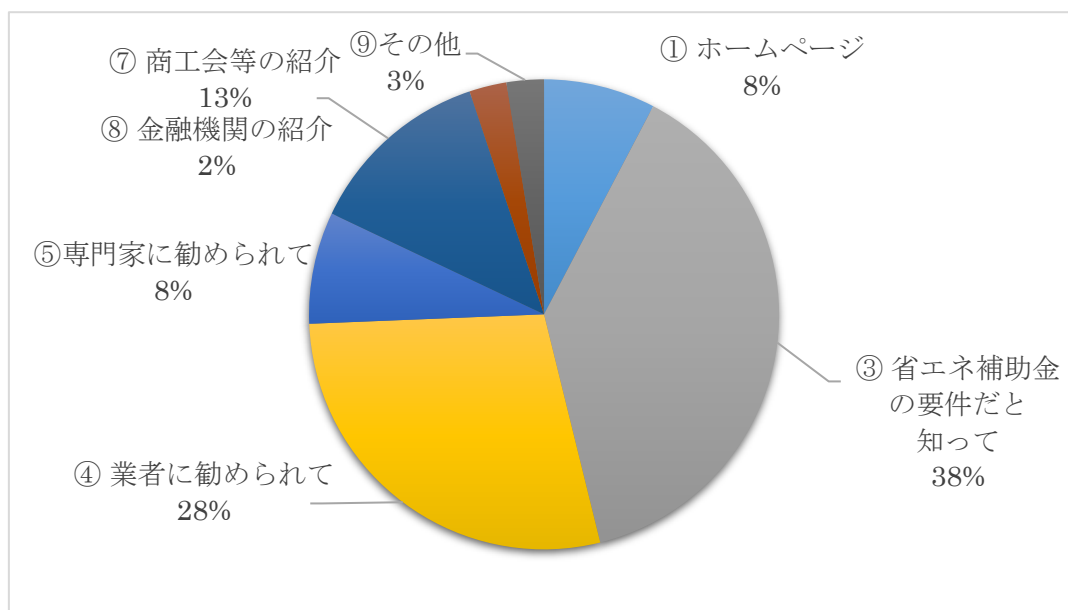
図表 1 省エネ診断・専門家派遣を活用した理由 (複数回答)



2. 省エネ診断事業を知った理由

「省エネ補助金の要件だと知って (38%)」、「業者に勧められて (28%)」、「商工会等の紹介 (13%)」という順だった。

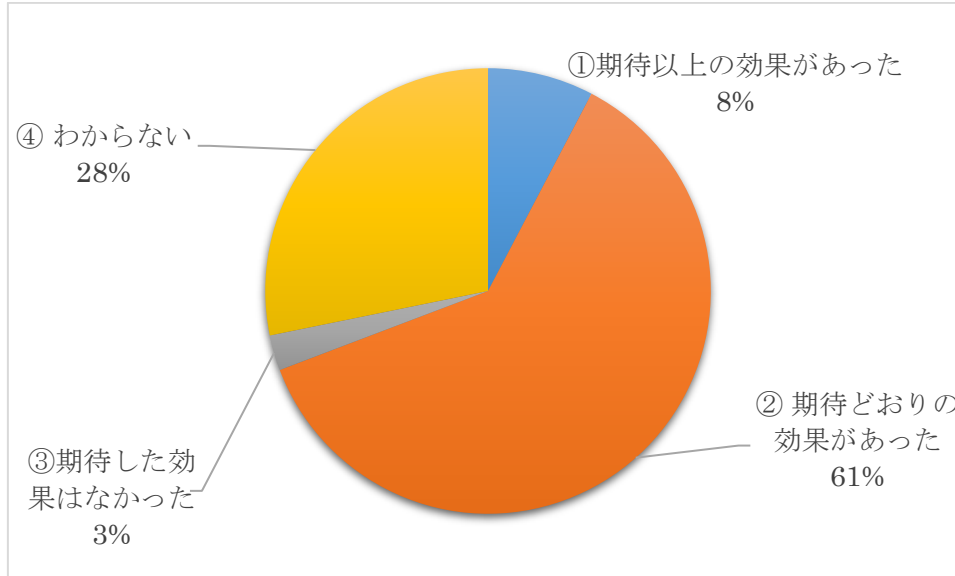
図表 2. 省エネ診断を知った媒体



3. 省エネ診断（専門家派遣）の効果

「期待どおりの効果があった（61%）」、「期待以上の効果があった（8%）」を併せて7割近くの企業が、効果があったと回答している。

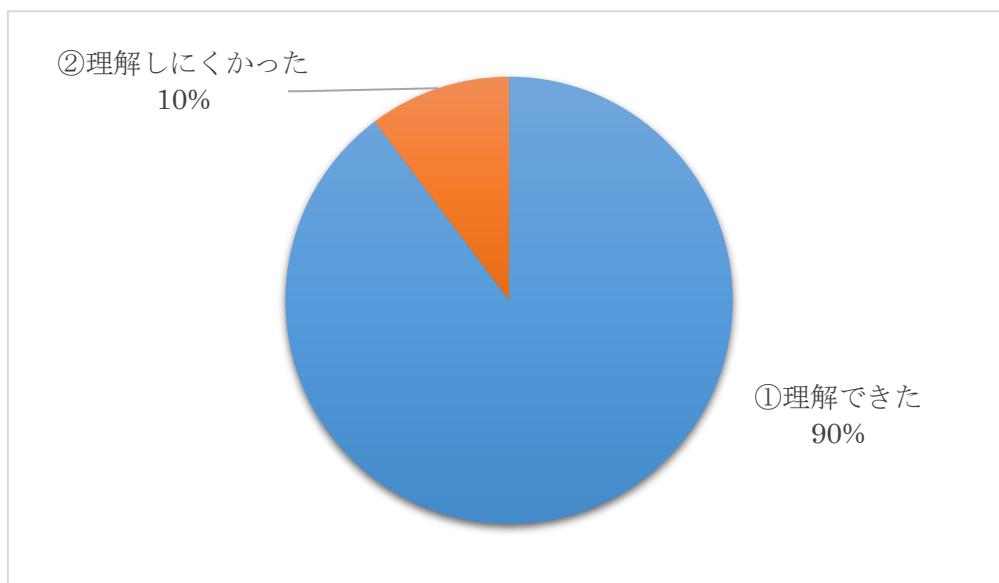
図表3 省エネ診断（専門家派遣）の効果



4. 省エネ診断（専門家）の報告内容

専門家から提出された報告書の内容について、ほとんどが「理解できた（90%）」という結果であった。

図表4 省エネ診断（専門家）の報告内容

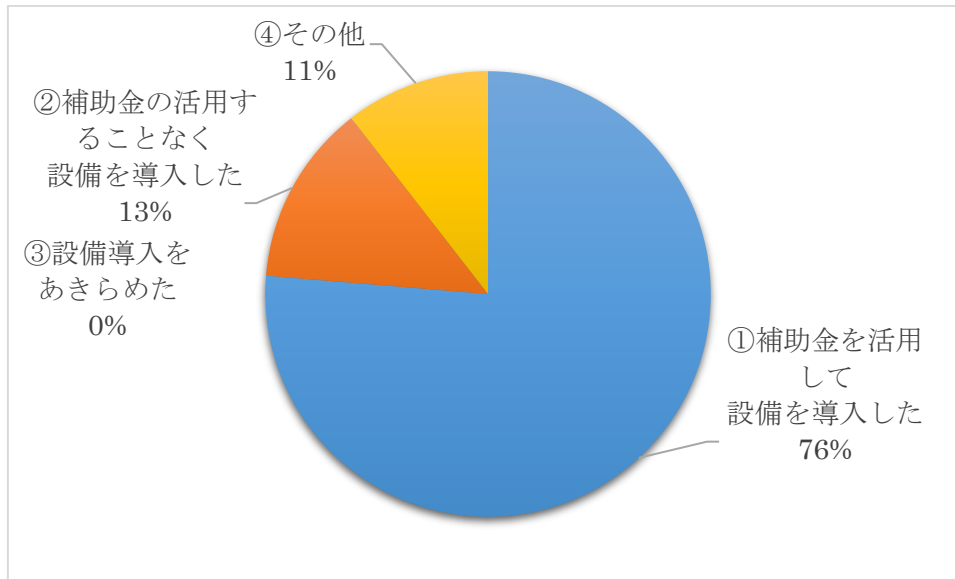


2-2. 省エネ診断のその後

1. 設備の導入について

省エネ設備について、76%の企業が「補助金を活用して設備を導入」している。中には「補助金を活用することなく設備を導入した（13%）」という回答もあった。

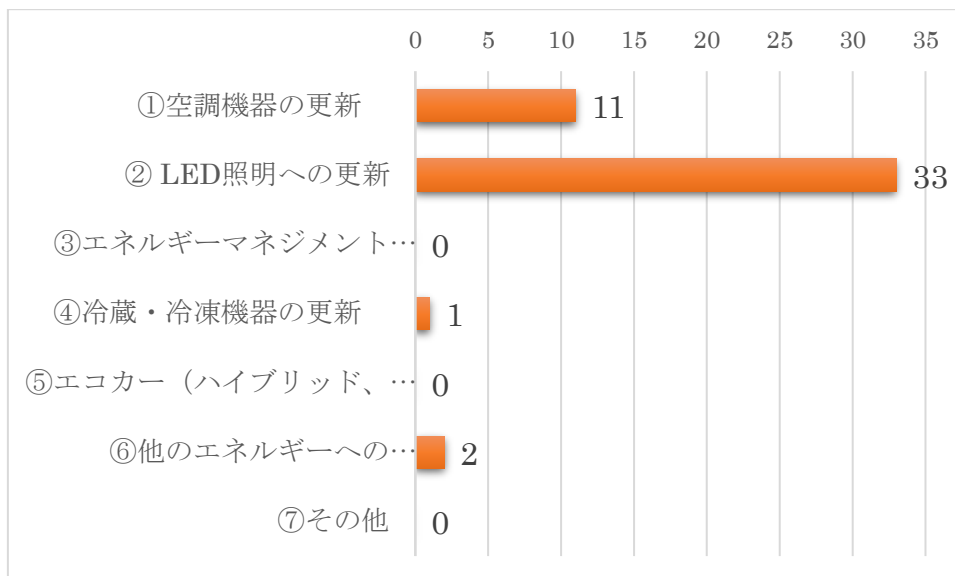
図表5 省エネ設備の導入について



2. 導入した設備の種類

導入された設備は、「LED照明への更新（33社）」が最も多く、「空調機器の更新（11社）」と続いている。

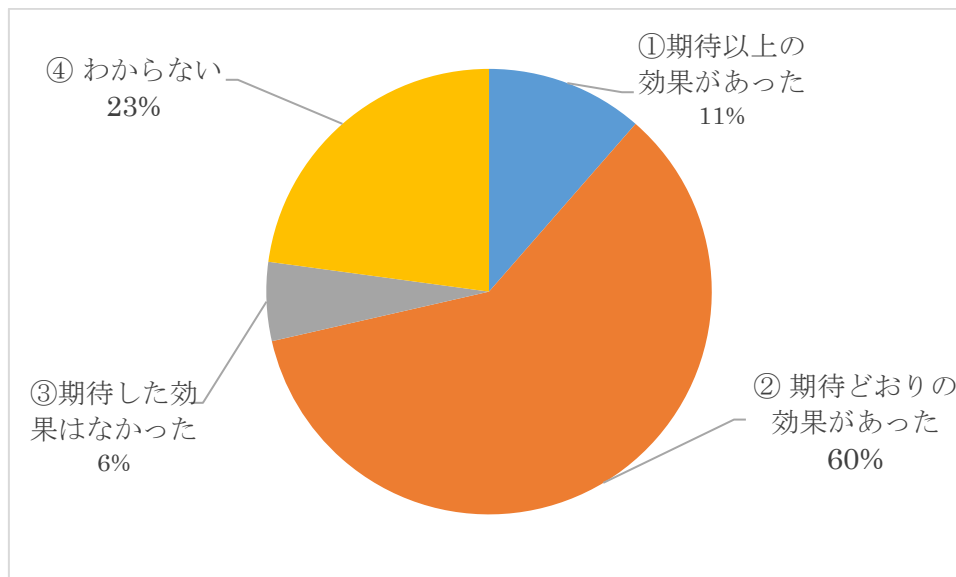
図表6 導入した設備の種類（複数回答）



3. 設備導入の効果

「期待どおりの効果があった（60%）」、「期待以上の効果があった（11%）」を併せて7割の企業が、効果があったと回答している。

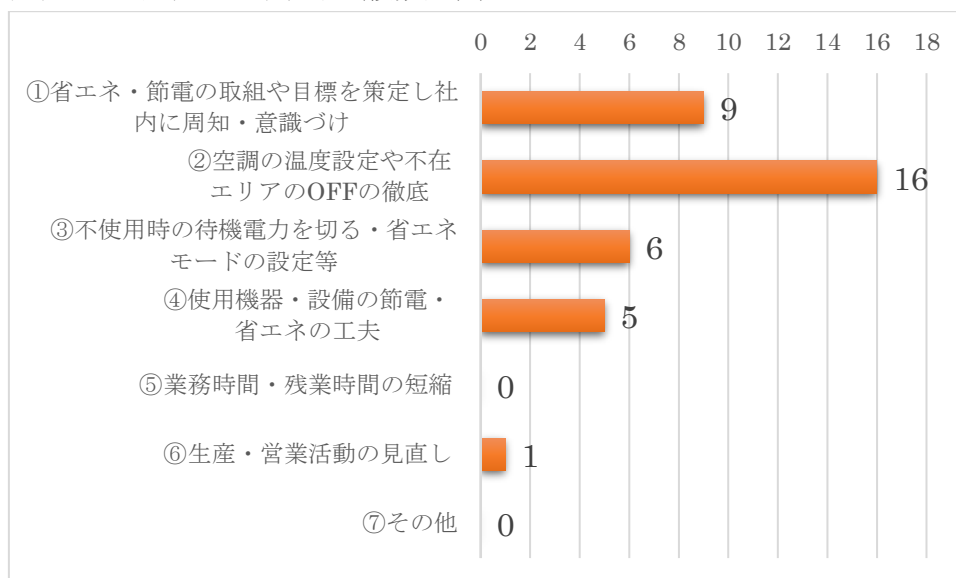
図表7 設備導入の効果



4. 運用面での取組み

「空調の温度設定や不在エリアのOFFの徹底（16社）」が最も多く、「省エネ・節電の取組や目標を策定し社内に周知・意識づけ（9社）」、「不使用時の待機電力を切る・省エネモードの設定等（6社）」、「使用機器・設備の節電・省エネの工夫（5社）」と続いている。

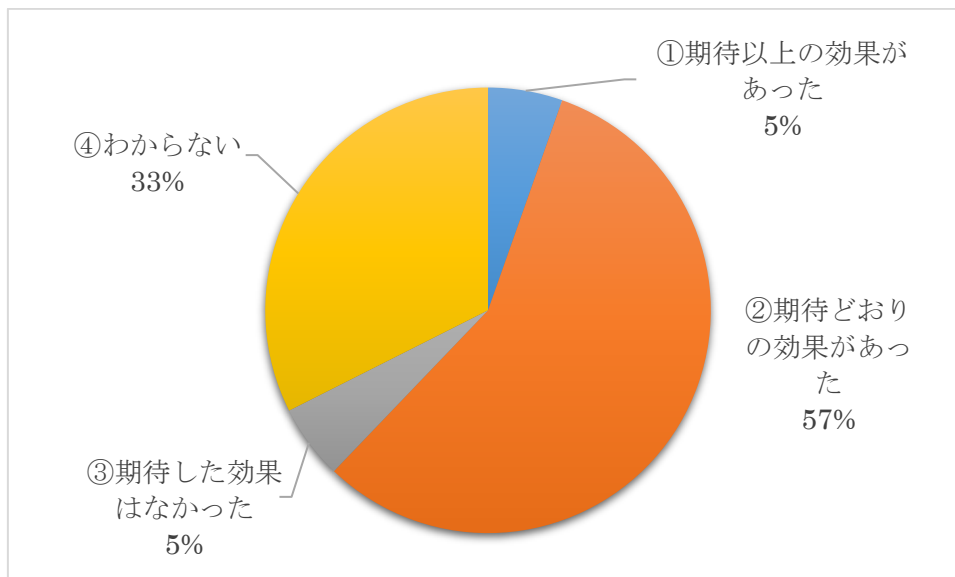
図表8 運用面での取組み（複数回答）



5. 運用面での取組の効果

運用面の取組みを行った結果、「期待どおりの効果があった（57%）」、「わからない（33%）」「期待以上の効果があった（5%）」。「期待以上の効果があった（5%）」。「6割以上の企業が効果はあったと回答している。

図表9 運用面での取組の効果

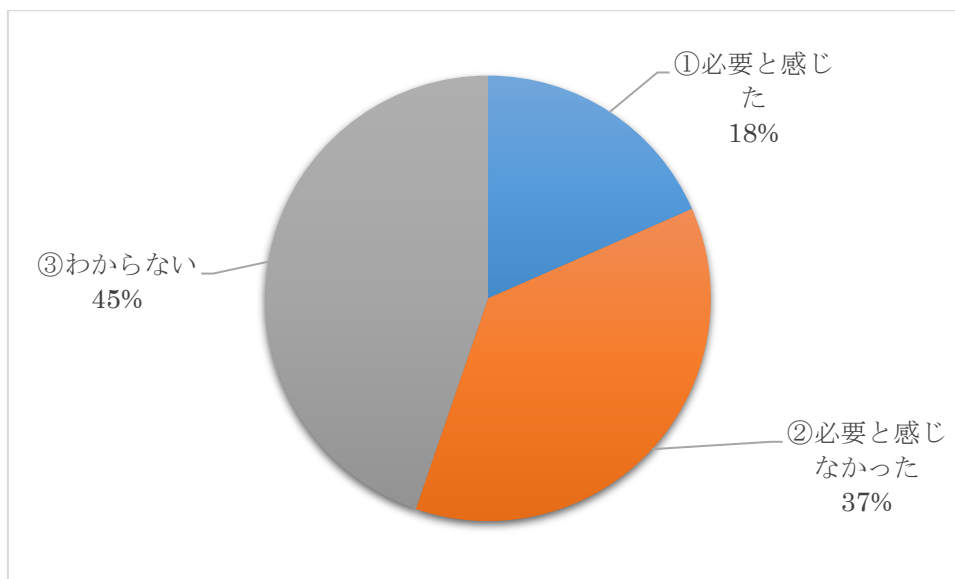


2-3. 今後の施策等について

1. フォローアップ等の必要性

「必要と感じない（37%）」「わからない（45%）」が8割あるが、「必要と感じた（18%）」企業もあり、下記の理由から具体的な取り組み方法などのフォローアップを必要としている企業もある。

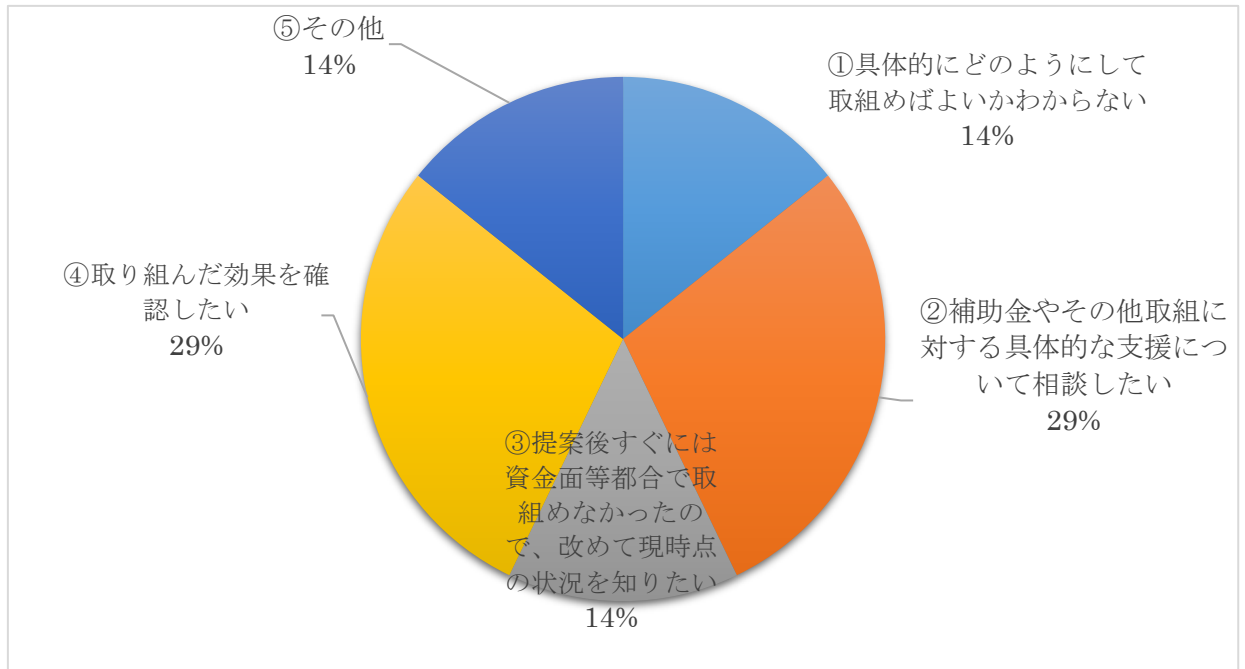
図表10 省エネ診断の結果を受けて、フォローアップ等の必要性



2. フォローアップの必要を感じた理由は何ですか

「補助金やその他取組に対する具体的な支援について相談したい（29%）」、「取り組んだ効果を確認したい（29%）」、「具体的にどのように取り組めば良いかわからない（14%）」、「取組後資金面等都合で取組出来なかったが現時点で状況を知りたい（14%）」などフォローアップを求めている企業が多い。

図表 11 フォローアップの必要を感じた理由



2-4. エネルギー使用量

1. エネルギー使用量（診断前と診断後）

省エネ診断を実施する前後1年間のエネルギー使用量について調査した。有効回答は28社だった。回答された数値を原油換算^{*1}したところ、診断前472,567K1に対して診断後が462,260K1と10,307K1の減少をしている。

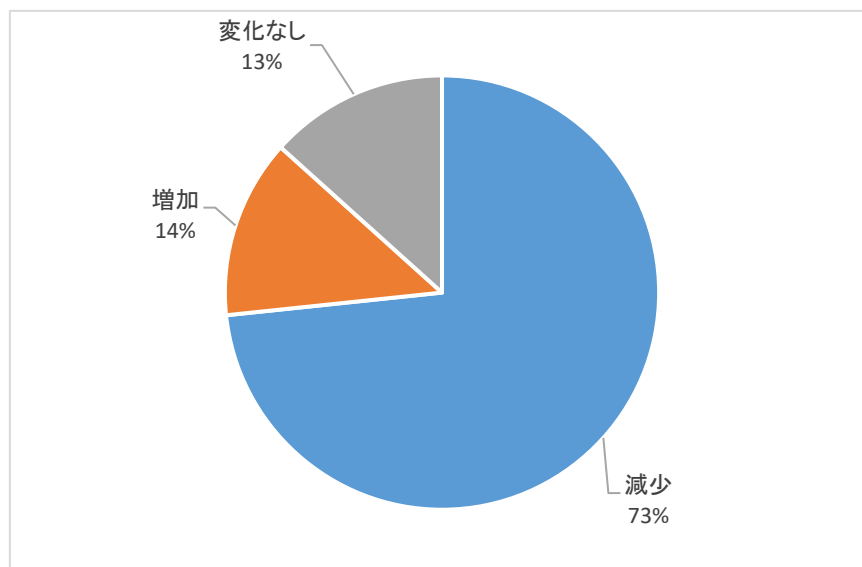
図表 13 エネルギー使用量（診断前と診断後） 単位 K1

診断前	診断後
472,567	462,260

2. エネルギー使用量（増減）

エネルギー使用量の増減の割合は、「減少（73%）」、「増加（14%）」、「変化なし（13%）」という結果だった。

図表 14 省エネ診断後のエネルギー使用量の増減



3-1. 省エネ診断に対するご要望

自由記入により要望を尋ねたところ、下記のようなコメントがありました。

■自社の現状把握ができ、特に夜間の無駄な電力消費の原因を特定していただいたことで、年間の電気使用量が大幅に削減できたことに感謝しております。

■目まぐるしく時代の流れが変わります。新しい専門知識を入れて会社を寄り良くするためには専門家派遣の取組を続けて頂きたいと思えます。

4-1. その他自由記入

下記のような感想や要望をいただきました。

■省エネ診断を受けさせていただいてから、社内でもよくその件で話をするようになったのはよかったです。

■更なる省エネに当たっては、設備の更新が肝要となりますので、補助金の情報を積極的にご教示頂ければ幸いです。

■LED照明への更新に伴い、省エネ診断を受診し自社の電力消費量を改めて把握することが出来ました、環境を整え節電し効果を得ているので今後もエネルギーを効率よく使い省エネに取り組んでいきたいと思えます。